

千葉県保護上重要な野生生物 —千葉県レッドデータブック— 追録

第4号（平成27年5月）

○本号での変更

本号で行う変更は、次の1種です。詳細については裏面を御覧下さい。

種名	変更内容	変更理由
バンズマメガニ	Aとして新規追加	千葉県内からあらたな生育地が発見された。

○本追録の位置づけ

千葉県では、保護すべき貴重な野生生物のリストである「千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—」及び「千葉県レッドリスト」をおおむね5年の間隔で発行してきました。しかし、毎年のように未記録の野生植物の発見が報告され、5年の間隔では緊急時に対応できないことが明らかとなってきました。そこで平成22年度から、年一回、レッドデータブック・レッドリスト掲載種の追加、ランク変更、削除等を行い、追録として公表しています。

本追録は、緊急を要する絶滅危惧生物のランクの改訂等を掲載し、広く県民に最新の情報を伝えることを目的としています。このため、冊子体のほかインターネットによる公開を行っています。

○レッドデータランク等について

本冊子でランク変更、追加、削除がなされた種については、本冊子の記述が優先し、以前に発行された「千葉県レッドデータブック」及び「千葉県レッドリスト」の記述は無効となります。

千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—追録第4号（平成27年5月）
2015年5月発行
編集 千葉県希少生物及び外来生物リスト作成検討会
発行 千葉県環境生活部自然保護課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
電話 043-265-3601 / ファックス 043-265-3615（千葉県生物多様性センター）
URL <http://www.bdcchiba.jp/>

A バンズマメガニ カクレガニ科

新規掲載

国：掲載なし

Pinnixa banzu Komai, Nishi et Taru, 2014

千：無—無—無

【新規掲載理由】県内から新種として記載されたが、個体数が少ないことがこれまでの採集調査から推測されること、宿主であるツバサゴカイが生息場所である干潟の環境の変化に対して脆弱であり、全国的に減少傾向が指摘されていることを考慮し、新規掲載することとした。

【種の特性】干潟に生息するツバサゴカイ *Chaetopterus cautus* の棲管中に共生する。現在のところ、他の無脊椎動物との共生は確認されていない。国内既知種としては、よく知られているラスバンマメガニ *Pinnixa rathbuni* Sakai, 1934 に形態的には近縁であるが、歩脚や雄の生殖肢の形態などにより識別できる。

【分布】東京湾（盤洲干潟）。

【県内の状況】木更津市の小櫃川河口に広がる盤洲干潟で採集された標本に基づき、2014年に新種として記載された。現在のところ、生息が確認されているのはタイプ産地のみである。また、採集個体も少なく、現在のところ4個体しか採集されていない。

【保護対策】本種はツバサゴカイに特異的に共生するものと推測されるが、宿主であるツバサゴカイの減少が全国的に指摘されており、ツバサゴカイの保護を考慮しなければならない。ツバサゴカイは干潟の底質中に棲管を作って埋入するが、底質を形成する砂や泥の組成の変化や水質の悪化がその存続に悪影響をもたらすと考えられる。干潟域の環境の維持が必要と考えられる。

【文献】Komai, T., Nishi, E. & Taru, M. 2014. A new species of *Pinnixa* (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Pinnotheridae) associated with a tube worm, *Chaetopterus cautus* (Annelida: Polychaeta), from Tokyo Bay, Japan. *Zootaxa* 3793(1): 119-132.

【写真】2010年。木更津市／ホロタイプ♂・甲幅 13.1 mm。千葉県立中央博物館所蔵（CBM-ZC 12293）／駒井智幸

